

ツアーの見どころ



クトゥブ・ミーナール

インド国内で最も高いこの石の塔は、奴隸王朝のクトゥブウッディーン王によって勝利の塔として建てられました。高さは72.5メートル、円周は下部が14.5メートルであるのに対し上部が2.75メートルとなっており、上にいくにつれだんだんと細くなっていきます。塔の中には螺旋階段があります。



大統領官邸

ラシュトラパティ・バーワンという別名を持つ大統領官邸は20世紀に植民地支配をしていたイギリス人の元で建てられました。1950年まではインド総督府として利用され、その部屋数は350あります。現在はインドの大統領が住んでいます。



国会議事堂

大統領官邸同様に、国会議事堂も20世紀のイギリス植民地時代にイギリス人によって建てられました。館内は上下院の二つに分かれています。別名ロック・サバーとも呼ばれており、世界で最も大きな民主主義国のシンボルになっています。



インド門

インド門は第1次世界大戦の慰霊碑として知られており、90000人の戦死者のためにイギリスに迫って建てられました。



フマユーン廟

16世紀にその後によって建てられた、ムガル帝国第二代皇帝の墓です。赤砂岩を使った美しい建築は、後に建てられたタージ・マハルにも影響を与えています。



ビルラー寺院

別名ラクシュミー・ナーラーヤン・マンディールを持つビルラー寺院は、インドの有名な実業家ビルラーによって建てられました。ヴィシュヌ神を祀ったヒンドゥー寺院で、インドの首都・デリーにおける主要寺院のひとつです。院内にはほぼ全てのヒンドゥー教の神が祀られています。



ラージガート

ラージガートはインドの父、マハトマ・ガンジーが火葬された場所です。ここには黒い大理石の慰霊碑がたっており、正面には「Hey Ram!」（おお、神よ！）というガンジーが射殺されたときに言った最後の言葉が刻まれています。



チャンドニー・チョウクでリキシャ体験

チャンドニー・チョウクはデリー旧市街の中心地です。以前この場所には美しい噴水が立ち並んでいましたが、現在は人が溢れる繁華街になっています。ラール・キラの反対側に位置しており、リキシャの体験はインド人の日常を感じることができます。



ラール・キラ

ラール・キラはその真っ赤な外観から、別名レッド・フォート（赤の砦）とも呼ばれています。ムガル時代のシャー・ジャハーンによって建設されました。砦の周囲は0.3キロあり、壁の高さは18メートルから、高いものは30メートルあります。砦の中には謁見の間を始めとした見どころのある建築物がたくさんあります。